

7/13

住家水びだし 交通網乱れる

豪雨

56戸は床上まで

商店街では品物の避難

福井市は十二日午前十一時、市役所内に同市水害対策本部（本部長、島田博道市長）を設置、全職員が警戒態勢にはいり、市内各所の危険箇所をパトロール。道路冠水のひどい同市東目之出、市立日之出小学校は第一時限目から休校したほか、木田小など市内六小、中学校も一時限目途中などから休校し、こどもたちを家へ帰した。午後四時までの同本部の集計では、床上浸水家屋五十六戸、床下浸水五百六十九戸で、江端川、荒川が増水を続けており、市内十九地区で一〇・二〇センチの水がヒタヒタと押寄せ、被害の輪が広がっている。とくに、日之出四丁目付近は荒川の支流の古川が十一日夜半から急にあふれ出し「曇を運び出すヒマもなかった」と市民は訴えている。観音町通りの商店街は十二日午前八時すぎから道路に水がたまり出し、商店に浸水し出したため、店頭の品物を避難させる店が目立った。



泥水につかり途方にくれる住民たち（12日午後1時、福井市城東二丁目で）



浸水した路上をしぶきをあげて走る車（12日朝、福井市日之出2丁目で）

北陸線足羽川鉄橋のすぐ東側。橋から鉄橋に水がかぶるのでは...とゲタまで迫った足羽川の濁流を見ながら「放水門を全面的にあげた見守っていた。」

A14-1-1

ガケくずれなど六件

7/12 雨はまだ降る

水防団など厳戒体制

梅雨前線の停滞で県下も十一日早朝からどしゃぶりの雨に襲われ、県下各地で早くもガケくずれなど六件の被害が出た。福井地方気象台は十一日夕、大雨情報を出し、県、市町村、水防団は厳戒体制にはいった。

十日午前九時から十一日午後三時までの雨量は福井四四ミ、大野四一ミ、敦賀一一六ミを記録。この雨で県下各地に土砂くずれなどの被害が六件も相次ぎ、小浜市では山くずれの危険のため民家一世帯(五人)が避難した。

福井地方気象台は十日夕の大雨洪水注意報に続いて十一日夕、大雨情報を出し「さらに平野部で五〇七ミ、とくに山間部で二〇ミ前後の雨が降る。山くずれや低地の浸水、河川のはらんにより十分注意するよう」呼びかけた。同気象台の話によると、東尋坊気象レーダーのスクリーンには、若狭湾一帯でかなり広範囲にわたって雨雲がうつっているうえ、県下の各河川もしだいに浸水している。このため、県土木部や土木事務所、市町村水防団では、万一に備えて河川のパトロールなど厳重警戒にのりだした。

A14-2-2

7/13

フライ

豪雨県下にも猛パンチ

八年ぶり床上浸水

福井の住宅街

各地で通行止め続出

西日本を中心に大きな災害をもたらした豪雨は、十一日夜から十二日にかけて福井地方にも襲ってきた。敦賀市では、トンネル温泉の旅館の一部が土砂くずれで倒壊したのをはじめ、鯖江市では、黒津川がはんらん、染色団地住民ら約五百世帯が、近くの染色会社体育館へ避難した。また、三方五湖の水があふれ県道が寸断され、福井市でも荒川の支流がはんらん、床上、床下浸水が続出した。

四市三町に対策本部

このため福井市、鯖江市、武生、水害対策本部が、敦賀市、三方町、市、今立町、南条町の三市二町に、災害対策本部がそれぞれ設けられた。雨量は降り始めた十日夜から十一



床上浸水した福井市日之出四丁目付近の住宅

令した大雨警報・洪水注意報を継続中で「十三日朝までに、県下全域で局地的な大雨が降る恐れがあり、関係機関は厳重な注意が必要」と警告している。

【今後の気象予報】

局地的な豪雨を降らしている梅雨前線は、西日本一帯を縦断している格好で、停滞している。この前線の北側にある福井地方は、雨雲が発生、雨は断続的に降り続けている。

特に台風8号から、南の暖かい湿った空気「湿舌」がこの前線に流れ込んでいるため、十三日朝までに県下全域で、七〇―一〇〇ミ

に達するので、さらに河川が増水するので注意が必要。

十一日午後九時から十二日午後三時までの県下各地の雨量(単位:ミ)
▽福井二九▽敦賀一八二▽大野一六三▽池田町緑谷山一九六▽大野市木無山一六三▽勝山市北谷一五〇▽上中町熊川一九六▽丸岡町山口二二〇▽今庄町瀬戸二二一

県内各地の被害

(12日午後10時現在・県水防本部まとめ)

	福井市	武生市	敦賀市	小浜市	大野市	勝山市	鯖江市	足羽郡	吉田郡	坂井郡	丹波郡	南条郡	今立郡	大野郡	三方郡	敦賀郡	大飯郡
床上浸水	56	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
床上浸水	569	50	88	52	4	0	17	9	18	25	17	145	147	0	31	62	30
床上浸水	0	20	6	21	0	2	2	3	0	0	0	19	1	0	6	10	20
床上浸水	15	2	4	8	0	0	0	1	0	1	3	8	3	1	0	6	1
床上浸水	0	420	393	126	25	0	400	6	1	206	38	40	408	1	207	349	33

美山で決壊寸前

足羽川 消防団員ら復旧作業

【浸水・避難】福井市内では荒川支流のはらんで日之出四丁目付近で床上浸水五十二戸、床下浸水四百八十七戸の被害が出た。水

は十二夕方までにほとんど引いたが、被災家庭では畳を上げたり家財道具を避難させるなど八年ぶりの水害に大あわてだった。

また今立町、池田町、今庄町、南条町など南越地方でも中小河川の決壊、いつ水で床上浸水六十八戸、床下浸水二百九十戸が出た。嶺南地方では七つの小河川がいつ水して美浜町久々子、早瀬、高浜町宮崎などで百十三戸が床下浸水。県下全体で床上浸水百一十一戸、床下浸水九百三戸を数えた。

また池田町谷口、寺合、今立町新西山、今庄町湯尾などの二十八戸にも避難命令が出された。

【道路・交通網の被害】土砂くずれやがけくずれで不通になった主要幹線は三十三カ所。特に国道三〇五号線は越前町米ノ一南条郡河野村糠間でがけくずれや落石が相次ぎ、全面通行禁止。

越前町梅浦の県道武生一四ヶ浦線でも四十戸にわたって約千立方メートルの土砂くずれが起った。土砂は道路の中央まで三、四メートルの高さに達し道路沿いの民家三軒の下屋まで埋まった。住民には被害はなかった。

復旧作業は十三日朝を待って開始する予定で、朝日土木事務所では準備を進め、同県道の通行を禁止した。

大野市の県道南六呂師一犬野線の大月地籍で午後六時土砂くずれ



足羽川堤防の補強工事に繰り出した美山町消防団員ら。美山町蔵作地籍で

のため通行止め。復旧は十三日いつばいかかる見込み。

このほか県営有料道路「エンゼルライン」「レインボーライン」も閉鎖、大野郡和泉村の国道一五七号線、池田町の県道今庄一池田線など各所で土砂くずれや道路損壊のため通行不能になっており、道路網は寸断された。

一方、福鉄・京福両私鉄バスもこの影響を受け、山間部路線で運休、折り返し運転が続出した。福鉄は越前海岸線など三路線が運休

河野線など五路線も折り返し運休。京福も池田線など三路線運休。三路線が折り返し運転になった。

【河川・田畑の被害】堤防の決壊は七十七カ所。今立町の鞍谷川、錦江市の浅水川など中小河川が多く、地元消防団員などが復旧作業に当たった。

美山町蔵作地籍の足羽川右岸堤防が同日午前十時ごろ決壊寸前になり、地元消防団員ら五十人が復旧作業に当たった。

また福井市の足羽川、荒川が警戒水位を突破、特に荒川では警戒水位を二層四六も上回り、ポンプ場がフル回転した。

田畑の埋没、冠水被害も多い。大野郡和泉村下山地籍で土砂くずれのため水田約三〇戸が埋没したのをはじめ、武生市、今立町などでも埋没、流失が相次ぎ、県内で二〇・五割の水田が被害を受け

冠水は福井市、今立町、美浜町などで続出、県内で約八百二十戸に被害が出ている。

三方五湖では降り続く雨で久々子湖、三方湖の水位が約一層も高くなり、湖水が湖畔へあふれ出た。このため県道常神線が通行不能になったほか、美浜町久々子などで水田約十軒、三方町三方で約六十五軒がそれぞれ冠水した。

【臨時休校】通学道路の冠水などで小学校六、中学校三、高校三の計十一校が臨時休校。ほかに始業時間を遅らせたり、終業時間の繰り上げなどの処置をとる学校が相次いだ。

臨時休校は福井市旭小、同市日出小、美山町上字坂小、南条郡河野村河野小、南条町南条小、高浜町神野小、福井市成和中、河野村河野中、美山町美山中、県立美方

若狭農林両高校と若狭高定時制。また若狭高や福井市木田小が午後から授業を打ち切り、期末テストを遅らせた。

酒 鳴り瓢

トを迎えた高志高が始業時間を大幅に遅らせた。

清水川の四か所決壊

7/12 ヨミウリ

各地で大雨の被害続出

大雨洪水注意報発令中の福井地方は、十一日も強い雨が降り、九井市で百十八ミ、敦賀市で百五十



鉄砲水で堤防が決壊、危険になった民家（南条郡南条町脇本で）

一・五ミ、大野市で九十三ミを記録、各地で堤防決壊などの被害が出た。福井地方気象台は「若狭沖の雨雲が北上、十二日朝にかけ、一時間に三十ミ前後の大雨が降る」と大雨情報を発表、県河川課も各市町村へ厳重警戒を指示した。

○十日午後八時ごろ、南条郡南条町脇本の清水川（幅六ミ、水深二ミ）が鉄砲水ではんらん、脇本橋両側の護岸などが四か所にわたって幅六ミ一十ミ決壊し、橋台が十ミ沈下、堤防沿いの農業高木茂さん宅三方住宅と物置き小屋の土台近くまでえぐり取られた。このため同町水防団員や地元民約二百人が出動、徹夜で土のうを積んだり、クレーン車で大型オートラボッド十五個を沈めた。この決壊で下流の休耕田約三畝と旧県道武生―木之本線が約五十ミにわたって一時冠水、近くの民家三戸が床下浸水した。

○十一日午前八時十五分ごろ、大飯郡高浜町笹原の県道坂本―高浜線（幅三・五ミ）で道路わきの山が幅五ミ、高さ約十ミにわたって地すべり、通りかかった同町宮崎、町衛生センター職員高木佐市さん（三六）の乗用車の右半分が埋まった。車は中破したが、高木さんは地すべりが起こる前、車から降り、道路にこらうっていた三十ミ四方の石を取り除いていたため、無事だった。

小浜では一家4人避難

○昨年六月、六人の犠牲者を出した小浜市金屋の万徳寺山中腹でも十一日未明、幅二十ミ、深さ約五ミに渡って地すべり。小浜署は山すその作業員松崎政美さん（三六）の家族四人を近くの公会堂へ避難させた。このほか土砂くずれで三方郡三方町神子白石の県道三方―常神

線、足羽郡美山町朝谷の県道西河原―朝谷線、大野市下若生の県道大野―墨俣線が不通になった。十二日朝までに全部復旧する。今月開通した小浜市久須ヶ夜岳（六一九ミ）の県営有料道路「エンゼルライン」（全長九・七ミ）料金徴収所から一・五ミの下り車線の斜面が幅五ミにわたってくずれ落ち、約五十立方ミの土砂が一車線をふさいだ。頂上までの数か所でも土砂がみぞなどにくずれ落ち、管理事務所は一日中閉鎖。

A14-4-4

大雨 各地で土砂崩れ

大 7/12

毎日

エンゼルラインも不通

十日夜から雨は激しさを増し、十一日午後三時までに福井市で四四ミ、敦賀市で一六ミ、大野市で四一ミ。各地で土砂くずれや河

川のはらんなどの被害が出た。福井地方気象台は「十二日いっぱい降り続き、五〇七〇ミ、所

敦賀で一六ミ 厳戒 必要

十一日午前八時十五分ごろ、大飯郡高浜町笠原の県道坂本―高浜線で同町宮崎、町職員、高木佐市さん(三三)が軽四輪を止めて落石をよけていたところ、幅十五ミ、高さ二十ミにわたって約五十立方ミの土砂がくずれ落ち、高木さんの軽乗用車の後部が土砂で埋まった。高木さんは車外にいて、とさ

に飛びのいたため難を免れた。高木さんは近くの衛生センターに出動する途中。午後には県小浜土木事務所ブルドーザーが土砂を取除いた。

一日に開通したばかりの小浜市内外海半島の久須夜ヶ岳エンゼルラインでも十日夜から十一日早朝にかけて頂上付近と中腹部の二カ所で幅十ミ、高さ十ミにわたって土砂がくずれ落ち、道路をふさいだ。このため、終日営業を中止した。工事をスピードアップした影響が出たものとみられる。一方、昨年六月、一家六人をの

によつては一〇〇ミ近くまで降りそう。がけくずれ、中小河川の出水に注意を」と呼びかけている。

み込んだ小浜市金屋の万徳寺裏山が降り続く雨で再びくずれ、危険が出てきたため、十一日昼過ぎから現場近くの土建業、松崎正美さん(三九)ら家族四人は地区公会堂に避難した。

同日午前零時半ごろ、足羽郡美山町朝谷、朝谷トネル西側が幅十ミ、高さ三ミにわたって崩壊。さらに幅五百ミにわたってくずれる危険が出たため、同トネルを通る県道西河原―朝谷線が通行止め。

十日午後八時ごろ、南条郡南条町脇本の清水川(幅三・五ミ)にかかる水門が増水のために流失、あふれ出た水が民家の石がきを長さ三十ミにわたってえぐり取ったため、消防団員七十人が出て土俵積みの応急措置をとった。

十一日午後三時十五分ごろ、三エンゼルラインを全面ストップさせた土砂くずれ



A14-5-5

大雨 各地に被害出始める

十日朝から降り始めた雨は、十一日も終日降り続き、県下各地で土砂くずれ、堤防一部損壊などの被害が出た。十日夜発令された大雨洪水注意報は、十一日夜になっても解除されず、福井地方気象台は「十二日朝にかけ県下全域で五〇―一〇〇ミ、この間によつては一時間に三〇ミの大雨も」と予想、引続き警戒するよう呼びかけた。



エンゼルライン

早くもくずれる

通行を全面ストップ

一日オープンしたばかりの小浜市のエンゼルラインは十一日早朝、雨のため二カ所で土砂くずれがあり、この日は通行を全面ストップした。

土砂くずれのあったのはゲートから約二キロ付近と頂上付近で、い

ずれも幅十メートル、高さ十五メートルにわたつて赤土が道路にくずれ落ち、ブルドーザーが出て午後三時ごろまでに土砂を取除いたが、また土砂くずれの恐れがあるため終日通行止めとなった。このほか各所で、小規模の土砂くずれが見られた。

エンゼルラインは観光客の拠点としてつくられたものが、九・七ミのけわしい山道を二期わずか一年余の間に急ピッチで仕上げたため、無理な工事が問題になり、土砂くずれ対策が必要とされていた。

9カ所で通行止め

県下小浜線も全線不通に

福井地方も十一日、一日じゅう断続的に強い雨が降り続いた。この雨で各地の雨量は池田町緑谷一八ミ、上中町熊川二二三ミ、敦賀市一六ミ、福井市四五ミ。このため、小浜市や美山町、南条町で土砂くずれ、堤防決壊の被害が出ている。

鎮して復旧を急いでいる。さらに十一日午前八時十五分ごろ高浜町等原の県道で、山すそが幅十三メートル、高さ二十五メートルにわたるくずれ落ちた。ちようど現場付近を通りかかった同町宮崎、町職員、高木佐市さん(三三)が道路上の落石を発見、車から降りて石を取り除いている時、ゴーという音とともに山

午前零時半ごろ幅十メートル、高さ三メートルにわたつて土砂がくずれた。復旧作業の結果、くずれた土砂は午前中に取り除いたが、現場付近約五百メートルにわたる危険がにわたつてくずれ、全面通行禁止となるなど、がけくずれが続発、同日午後零時まで県内で九カ所が通行止めになった。がけくずれによる不通箇所は次の通り。

▽丹生郡越前村―越前町間の国道三〇五号線▽福井市西大味の県道東郷―今立線▽南条郡河野村の国道三〇五号線▽大野市勝原―岐阜県境間の国道一五七号線▽大野郡和泉村の県道白山―中居神社―朝日線▽同和泉村の県道土大納―下山線▽美浜町菅浜の県道白山―美浜線

また、小浜市金屋地籍では、以前土砂くずれのあった万徳寺山が危険になったため、山沿いの作業員、松崎利夫さん(四七)の家族一人が近くの金屋公民館に避難した。

5戸が避難

美浜町日向

十一日午後十一時ごろ美浜町日向で土砂くずれの恐れが出たため民家五戸に同町から避難命令が出され、それぞれ区内の親類の家などへ避難した。

また、小浜市金屋地籍では、以前土砂くずれのあった万徳寺山が危険になったため、山沿いの作業員、松崎利夫さん(四七)の家族一人が近くの金屋公民館に避難した。

大雨警報を発令

福井地方
気象台

福井地方気象台は十一日午後十時、大雨警報・洪水注意報を発令した。

それによると十日から降り続いた雨は十一日にはいつて梅雨前線の活動が活発になってきたので、

北地方の山岳部と嶺南地方で断続的に強く降っている。この雨はさらに十一日夜から十二日にかけて時々強く降る見込み、今後の雨量は、県下全般に七〇ミ程度の見込みだが、山間部や嶺南地方では一

〇〇ミ、ところによつては一五〇ミを越える大雨になる。このため河川ははんらんし低い土地の浸水山くずれ、がけくずれなど重大な災害の起る恐れがあるので、厳重な警戒が必要。

このため、金沢発米原行き、くすりゅう6号が定刻より一時間二十分遅れたほか、下り特急雷鳥8号など上下合わせて六本がそれぞれ一時間近く遅れている。上りは二時間後開通し午後十一時ごろダイヤは平常に戻ったが、下りは依

A14-6-6

A14-6-7

県下にも雨の被害出る

各地で土砂くずれ

エンゼルライン通行止め

カラつゆだった県下は、九日夕からの雨で一転、十日夕には大雨洪水注意報が出された。断続的に強く降る雨は、十二日まで続く見込みで、十一日夕まですでに一〇〇ミリを越えた降雨量は、さらに一〇〇ミリほど降りそう。この雨で、県下各地で土砂くずれが相次ぎ、不通箇所も出始めており、県と県警は万全の注意を呼びかけている。

県下の雨は嶺南地方から丹後半島にかけて、停滞している雨雲の影響で、福井地方気象台の話では、十二日まで変わりそうもないという。

この雨で国鉄北陸本線は、今庄駅付近で徐行運転をして十一日は一日中、十分前後の遅れを出したほか、国道八号線などの幹線道路ではノロノロ運転から、交通渋滞が出る箇所もあった。

同日午前零時三十分ごろには足羽郡美山町赤谷の県道西河原一赤谷線で十層にわたって土砂くずれがあり一時不通。また同日午後三

時ごろ、三方郡三方町神子の県道で高さ六十層、幅五十層にわたって土砂がくずれ不通となった。

清水川の堤防決壊

十日午後八時には南条郡南条町脇本の清水川で、二カ所で堤防が決壊、一部地域で浸水したが家屋などに被害はなかった。

一方、さる一日開通したばかりの小浜市の久須夜ヶ岳有料道路「エンゼルライン」で十一日早朝土砂くずれがあり、同ラインは終日通行止めとなった。起工式から一年二カ月の突貫工事で完成されただけに、一部の関係者の間では土砂くずれが心配されていた矢先だった。

同有料道路管理事務所の調べによると、土砂くずれを起した箇所は六カ所。トールゲートから三・七層、五・五層、八・六層付近。特に三・七層と八・六層付近の土砂くずれがひどく、道路ノリ面から約二十三十立方層の土砂がくずれ落ち道路をふさいだ。

一家四人が避難

昨年六月土砂くずれで一家六人を二飲みにした小浜市金屋の通称

万徳寺山の土砂くずれ現場は、降り続く雨で再び危険な状態になってきたため、ふもとの同地区大工松崎正美さん(三九)一家四人は十一日夜から近くの金屋公会堂に避難した。

県若狭事務所、小浜市では同日、現場を調査したが、地盤が長雨で相当ゆるみ、頂上付近にさけめが出来ることがわかった。

今後、まだ雨が降り続けばさらに土砂くずれがあらわれ、状況が悪くなり、大きな土砂くずれが起きる可能性もあり心配されている。

土砂くずれで乗用車下敷き

高浜町の県道

十一日午前八時十五分ごろ、大飯郡高浜町等原の県道坂本高浜線

現場は国道二七号七百層入ったところ、同衛生センターの手地点にさしかかった頭大の岩が路上に

A14-7-8-1



の総勢が倍の将来にきつと役に立つとついでに。

愛知大会はあと十日ほどで開幕する。「部の伝統は高校生らしい

インドネシアの女子チームや、いくつかの男性チームと親善試合をするが、ジャカルタ婦人スポーツ協

会のシュル・アリフィン会長は

ームのためにもたらした一〇〇〇点目のゴール。

なお、ペレは3年前に国際試合を含めて生涯一〇〇〇ゴールを達

きの斜面が高さ二十層、幅十五層にわたってくずれ、同町衛生セン

ターへ出勤途中の同町宮崎、高木佐市さん(三九)の乗用車が埋ま

くずれ

イン通行止め

報が出された。断続的に強く降る雨は、十二日まで続く見
ほど降りそう。この雨で、県下各地で土砂くずれが相次

三方郡三方町神子の県道
八十、幅五十にわたっ
がくずれ不通となった。
水川の堤防決壊

後八時には南条郡南条町
清水川で、二カ所で堤防が
部地域で浸水したが家屋
被害はなかった。

さる一日開通したばかり
市の久須夜ヶ岳有料道路
セルラインで十一日早朝
ずれがあり、同ラインは終
止めとなった。起工式から
九月の突貫工事で完成され
に、一部の関係者の間では
ずれが心配されていた矢先

料道路管理事務所の調べに
、土砂くずれを起こした個
所。トールゲートから
、五・五、八・六、付
に三・七、八・六、付近
くずれがひどく、道路ノリ
約二十一、三十立方の土砂
れ落ち道路をふさいだ。

一家四人が避難

昨年六月土砂くずれで一家六人
を二飲みにした小浜市金屋の通称

万徳寺山の土砂くずれ現場は、降
り続く雨で再び危険な状態になっ
てきたため、ふもとの同地区大工
松崎正美さん(三九)一家四人は十一
日夜から近くの金屋公会堂に避難
した。

県若狭事務所、小浜市では同
日、現場を調査したが、地盤が長
雨で相当ゆるみ、頂上付近にだけ
めが出来ていることがわかった。

土砂くずれで 乗用車下敷き

高浜町の県道
十一日午前八時十五分ごろ、大
飯郡高浜町雪原の県道坂本高浜線

今後、まだ雨が降り続けばさらに
状態が悪くなり、大きな土砂くず
れが起きる可能性もあり心配され
ている。

で土砂くずれがあり、出勤途中の
同町衛生センター職員高木佐市さ
ん(三三)高浜町宮崎の乗用車が
土砂の下敷きとなったが、高木さ
んはいち早く逃げて無事だった。
現場は国道二七号線から南へ約
七百米入ったところ。高木さんは
同町衛生センターの手前約二百米の
地点にさしかかったところ、人の
頭大の岩が路上に散乱している

のを発見、車を止めて岩をよけて
いたところ突然、道路右側の山が
「ドドド……」という音とともに
くずれてきた。高木さんはとっさ
に身をひるがえし逃げたという。
現場は約七十立方の土砂が高
さ約二十五、幅約十三にわた
ってくずれ落ち、高木さんの乗用
車をつぶし土と雑木が幅約三・五
の県道をふさいだ。
高木さんは「現場はこれまでに
もよく岩のかけらが落ちていたの
で注意していた。瞬間の出来事で
どのようにして逃げたか思い出し
ません」と胸をなでおろしてい
た。
なお、現場は午後三時ごろ復旧
した。

A14-7-8-2

ためにもたらした1000
ゴール。
ペレは3年前に国際試合
で生涯1000ゴールを達

きの斜面が高さ二十、幅十五
にわたってくずれ、同町衛生セン
ターへ出勤途中の同町宮崎、高
木佐市さん(三三)の乗用車が埋ま
り、中破した。高木さんは車の前

7/12
ライ

県下の被害広がる

A14-8-9-1

特急など十本が遅れる

北陸本線

金鉄局の調べによると十二日午前十一時現在、北陸本線下りの各列車が大幅に乱れ特急雷鳥8号が

四時間四十分遅れたほか、急行くずりゅう4号が四時間遅れるなど特急二本、急行六本、普通二本が最高五時間から一時間程度の遅れを出している。

また、この雨で軌盤がゆるみ新正田―武生間で安全のため三千ギ運転を行ない、北陸本線のダイヤ運轉車二本が遅れたほか、金鉄

発米子行急行「大杜」一往復が運休した。

このほか、貨物列車は米原口で上、下各三十三本、直江津口で上下二十六本が運休となったほか、金鉄局管内各駅で十四本の貨物列車が運休している。

・洪水注意報は継続中で、同気象台は「十三日朝までにさらに全県下で、一五〇―二〇〇の局地的な大雨が降る恐れがあるので、関係機関は十分注意してほしい」と呼びかけている。

「災害は忘れたくはない」といまでもないことであって「備えあれば憂いように、いつも対かねばならないのが、災害の場合手に回すケースがきのうからけさ下各地ではかなり

五百二十戸が浸水

美山
今立
住民に避難命令

西日本を中心に襲っている「ゲリラ前線」で、福井地方も十一日夜から十二日にかけて被害が出てきた。

福井地方気象台の観測によると、十日夜から降り始めた雨は局地的な大雨となり、嶺南地方の敦賀、上中町熊川、嶺北の丹南地方の池田町、今庄町の山岳地帯で

床上浸水三百六十四戸の被害が出ている。

特に被害がひどいのは福井市、敦賀市、今立町。福井市と今立町では、水害対策本部を設け、粟田小字坂島でも足羽川が決壊寸前に

なり、住民に避難命令が出た。

十二日夜、発令された大雨警報

県下各地の被害(正午現在)

【家屋の被害】福井市内では荒川の支流がはんらんして出四丁目付近の五十戸が床上浸水している。このほか県下では武生市、今立町などで合計百十六戸が床上浸水の被害を受けている。

【交通機関の被害】県警本部の同日午前十時現在によると、土砂くずれで不通になっている八カ所。特に国道、三三

京福西私鉄バスも山間部に運休、折り返しが滞り返し路線九。

また福井市内などでは朝のラッシュの市内部の乱れが目立った。

【河川・田畑の被害】市の調べによると、足羽市幸橋付近で八、六三、八、荒川の福井市旭小・九、(同七、)日野山久喜津橋付近で八、五、七、(同七、)といずれも警戒水している。このほか九、井市市角橋付近でも六、位を記録、七、の警戒水



大雨で、付近の小川がはんらんして床上浸水した日之出四丁目

【今後の気象予報】大雨を降らせている

東西

気象台

このほか、貨物列車は米原口で上、下各三十三本、直江津口で上下二十六本が運休となつたほか、金鉄局管内各駅で十四本の貨物列車が停車している。

東西一南北

後手にまわる防災対策

目も雨が降つたら、お手上出来たエンゼルラインが、わすか二〇ミリの雨で、五方所もがけくすれを起してしまふのだといえよう。

(常)

は、商売のことしか考えていなかったといわれても仕方がないであらう。

しかも、県営の有料道路である。道路さえ早く開通すれば金はいれると思つたのか、あるいはがけにまでは手が回らなかつたのか、いずれにせよ「災害は忘れたころにやってくる」といふことを頭の中にいつも入れておかねばならない県が、このようなことで先が悪いやられるといえよう。

(常)

県下各地の被害

九時までの雨量(単位ミリ)

▽福井市一〇六▽敦賀市一六四
▽大野市一四五▽池田町緑谷山一
七三▽大野市木無山一四二▽勝山
市北谷一二三▽上中町熊川一七九
▽丸岡町山口九三▽今庄町瀬戸二
〇三

県下各地の被害

【家屋の被害】福井市内では荒川の支流がはらん目之出四丁目付近の五十戸が床上浸水している。このほか県下では武生市、立町などで合計百十六戸が床上浸水の被害を受けている。

によると、土砂くずれやげくずれで不通になっている主要幹線は八カ所。特に国道、三〇五号線はほぼ全面的に通行止めになっている。一五七号線も県境で不通。このほか県道常神―三方線は、三

また武生市余川町の聯合川など十力所で堤防が決壊、付近民の避難が続出している。田畑の冠水も相次ぎ、県内で一、一三三・四軒(同日午前十時現在)が被害を受けた。

床下浸水も武生市などの県内各地で相次ぎ、三百六十四戸で被害を受けた。

【県道・交通機関の被害】 県警

方五湖の水が道路上に二〇一三〇
センチあふれている。また小浜市のエ
ンゼルラインも前日に続いて閉鎖
している。

【学校】 通学路の危水なとて、眞内マコトの七小学校在十二日臨時休校になつたのをはじめ、始業時間を遅らせたり終業時間の繰り上げなど

京福岡私鉄バスも山間部路線を中心に運休、折り返しが繰出してゐる。運休路線は七、一部運休、折り返し路線九。

また福井市内などでは道路冠水で朝のラッシュの市内バスダイヤの乱れが目立つた。

臨臨休校になっているのは福井市旭小、美山町上字坂小、南条郡河野村河野小、南条町南条小、高浜町神野小、若狭農林高。いずれも通学路の冠水や河川の増水、土砂くずりで危険になっているため。また福井市日出小では午前

【河川・田畑の被害】 県水防本部の調べによると、足羽川の福井市幸橋付近で八層六三（警戒水位八層）荒川の福井市旭小付近で九・九層（同七層）日野川の福井市久喜津橋付近で八層五六（同七・七層）といずれも警戒水位を突破している。このほか九頭竜川の福井市中角橋付近でも六層六八の水位を記録、七層の警戒水位に迫つ

中いっはい児童を自宅待機させなければ、同市木田小では、午後から授業を打ち切り児童を集団下校させることにした。

さらに期末テストを迎えている高志高など各高校は、始業時間を約十分から四十分遅らせたが、遅刻者が相次いだ。若狭高は午前中二時限で授業を打ち切った。成和中、美方高、若狭農林高も休校。

さらに降る

氣象台
嚴戒呼びかけ

【今後の気象予報】

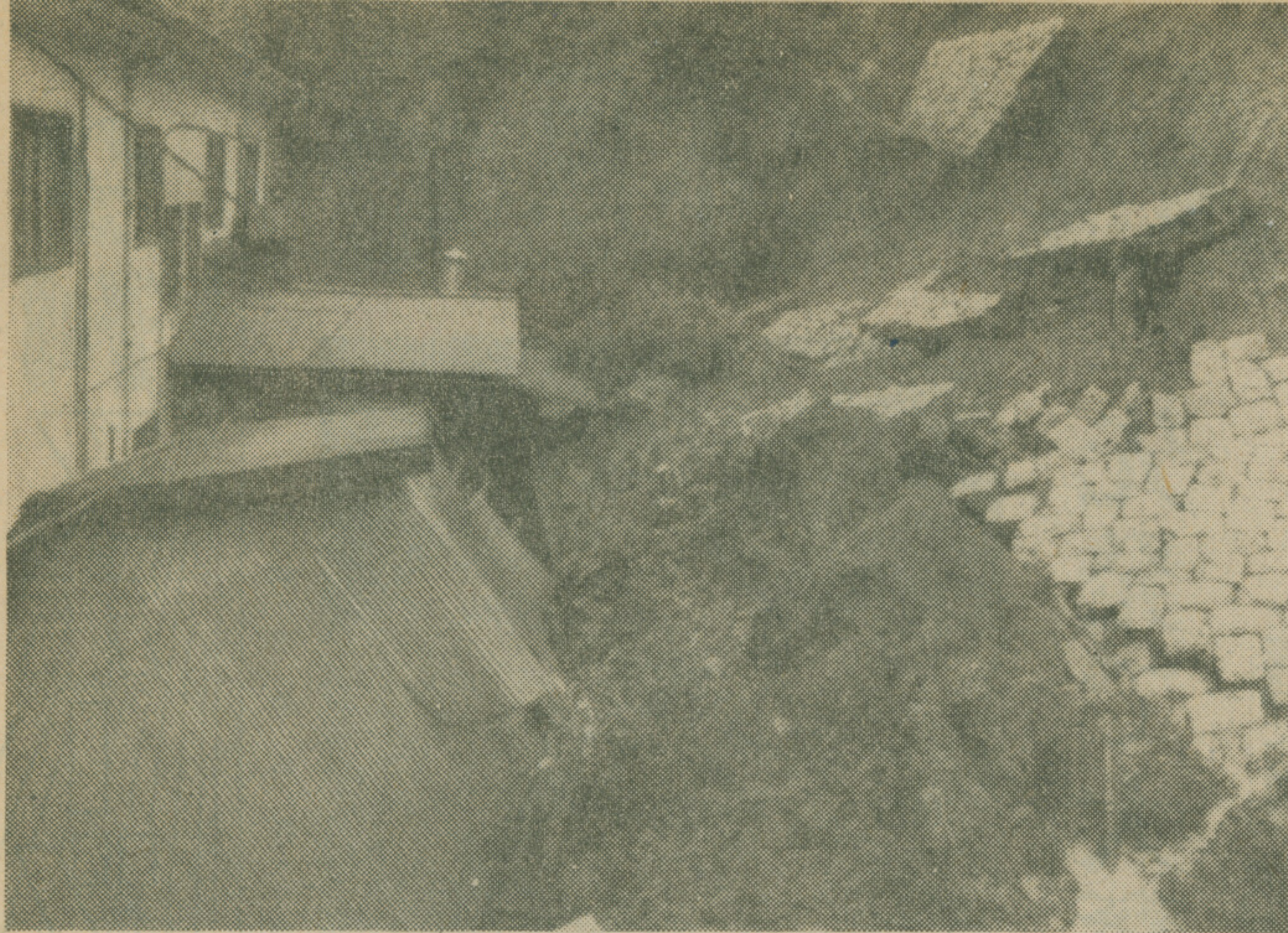
恐れがある。

的な大雨で、付近の小川がはんらんして床上浸水した
五日之出四丁目

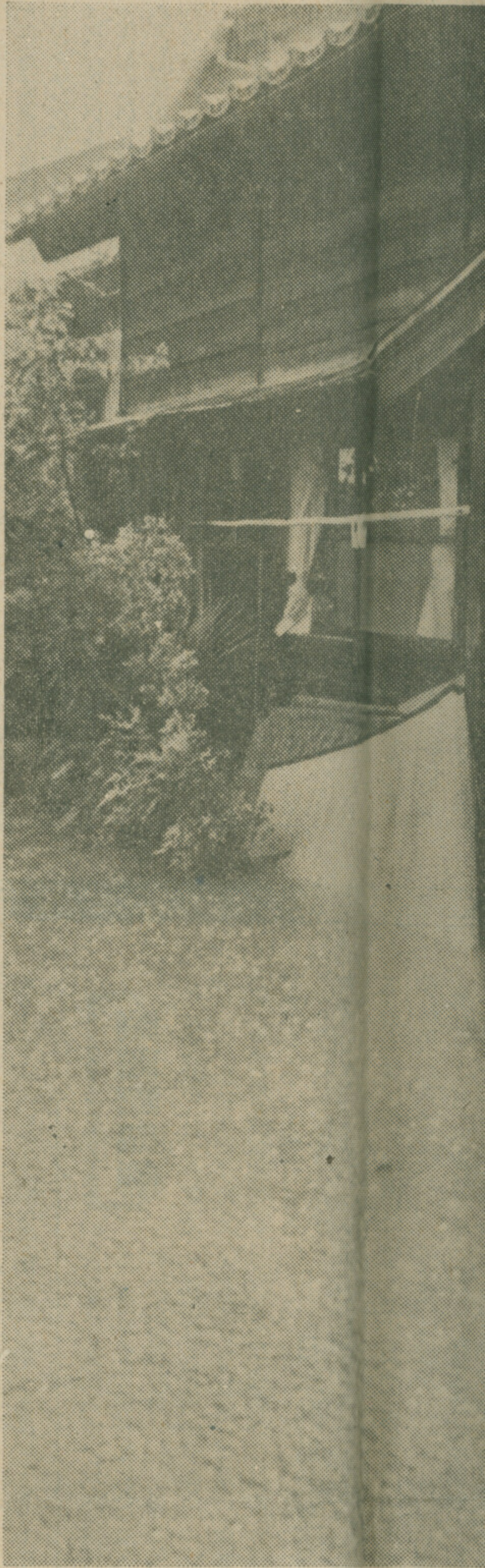
大雨を降らしている梅雨前線は

特に台風8号から、この前線に

県下



石がきがくずれ落ち倒壊したトンネル温泉センターの倉庫



旅館の一部倒壊

敦賀で土砂くずれ

十二日午前五時十分ごろ、敦賀市吉河、中村山中腹で高さ九層、幅二十層の土砂くずれがあった。このため約二百立方メートルの土砂がくずれ落ち敦賀トンネル温泉センター代表者中川佐一郎さん(四二)の木造平屋建て約二十平方メートルの調理場が半壊、約十四平方メートルの平屋建て倉庫一むねが全壊した。敦賀署は、調理場の使用を禁止し、警戒している。泊まり客十人がいたが無事だった。同温泉センターは十二日臨時休業にした。

三国港でタンカー座礁

巡視艇にえい航され脱出、十二日午前十時五十分ごろ、三国町新保の北電福井火力発電所の導流堤約百メートル沖合でタンカー「二宝丸」(四五九ト)が座礁。連絡を受けた三国海上保安署は、巡視艇「あさぎり」を出艇させ、えい航した結果、十一時四十五分

A14-8-9-3

局地的な大雨で寸近の小川
福井市日之出四丁目

【今後の気象予報】
大雨を降らしている極西日本一帯を縦断した終せん停滞している。この側にある福井地方では、生、雨は断続的に降りる。十二日夜までに五〇とこによつては二〇〇

気象
台

位を記録、七時の警戒水

も十一日夜から十二日にかけて被害が出てきた。

雨で、一方、交通機関も、北陸線が下り列車を中心に大幅に乱れ、最高五時間の遅れが出ている。京福、福鉄の路線バスも運休が相次いでいる。

特に被害がひどいのは福井市、敦賀市、今立町。福井市と今立町では、水害対策本部を設け、粟田部地区の住民八十世帯のうち十六世帯に避難命令が出された。福井十一日夜、発令された大雨警報

【県道・交通機関の被害】県警によると、このほか県下では福生市、今立町などで合計百十六戸が床上浸水の被害を受けている。

方五湖の水が道路上に二〇―三〇センチあふれている。また小浜市のエンゼルラインも前日に続いて閉鎖している。

【学校】通学路の冠水などで県内の七小学校が十二日臨時休校になったのをはじめ、始業時間を遅らせたり終業時間の繰り上げなどの処置をとる学校が目立った。

臨時休校になっているのは福井市旭小、美山町上宇坂小、南条郡河野村河野小、南条町南条小、高浜町神野小、若狭農林高。いずれも通学路の冠水や河川の増水、土砂くずれで危険になっているため。また福井市日出小では午前中いっぱい児童を自宅待機させたほか、同市木田小では、午後から授業を打ち切り児童を集団下校させることにした。

さらに期末テストを迎えている高志高など各高校は、始業時間を約十分から四十分遅らせたと、遅刻者が相次いだ。若狭高は午前中二時限で授業を打ち切った。成和中、美方高、若狭農林高も休校。



局地的な大雨で、付近の小川がはんらんして床上浸水した福井市日之出四丁目

さらに降る

気象台 厳戒呼びかけ

【今後の気象予報】

大雨を降らしている梅雨前線は西日本一帯を縦断した格好で、いぜん停滞している。この前線の北側にある福井地方では、雨雲が発生、雨は断続的に降り続けている。十二日夜までに五〇―七〇ミリに達する。このほか九頭竜川の福井市中角橋付近でも六、六八の水位を記録、七、七の警戒水位に迫っている。

恐れがある。

特に台風8号から、この前線に南の暖かい湿った空気「湿舌」が流れ込んでいるため、雨は十三日朝までに嶺南地方から嶺北地方の平野部に移り、一五〇―二〇〇ミリに達するので厳重な注意が必要。

館の一部倒壊

敦賀で土砂くずれ

敦賀 離礁した。船体には異常なく、積み荷の重油も漏れなかった。前日米の雨で三国港は増水し、同保安署では、入港が危険なので、

後で
生地

豪雨 浸水、山くずれ続出

京都府北部の丹波市は、
昨年十一月以来、順調な受注が続
いている。丹波織物工業組合（八
千五百五十九業者、織機三万四千五
百台）の調べで、現在、ちのめ



福井

福井市内を流れる各河川は、
十一日深夜から急激に増水。十二

荒川支流はんらん 国鉄駅裏で645戸つかる

梅雨前線による「ゲリラ豪雨」はとうとう県内も襲った。大雨洪水警報の出た十一日夜から十二日にかけて、山くずれ、がけくずれ、河川のはんらん、床上、床下浸水家屋が続出、十二日夕方までに千三百三十九世帯が被災した。泥水をかぶった人たちのために、たき出しや避難命令が出され、福井、鯖江市と南条郡南条、今立郡今立の両町は水害対策本部を設置、救助体制をとったが、雨は断続的に終日やまず、救援はとしゃ降りの中で続けられた。福井地方気象台は「瀬戸内海の海上に停滞していた梅雨前線が北上を始めており、十四日ごろまで百ミ、二百ミの豪雨が続く。その後も台風六、七、八号の影響で、被害はさらにふえる」と予報しており、厳重な警戒を呼びかけている。

被災1千世帯超す なお厳戒

（団長）は、即ち大同興業社
長）が十三日午前十時から月末の
中国訪問をひかえて最後の打ち合
せ会を開き、訪中目的、中国政治
三原則、貿易四条件などにたいす
る使節団の基本的姿勢を確認する
ことになっているので、同懇話会
ものとみられる。

ユニチカ（本社・大阪市、富井
一雄社長）は十二日、中国とエチ
オピアの国境を中国に派遣する、と
発表した。これは中国からこのほ
うの国境を中国に派遣する、と
発表した。これは中国からこのほ

ユニチカ プラント 商談協議

行ないたい」との正式招請状が届
いたため。
一行は大槻重衛ユニチカ専務、

ールを合成するプラント」など
が対象となっており、金額にすれ
ば三、四百億円にのぼる膨大なも
の。ユニチカによると、技術会談
は一月半から二カ月ぐらいかか
る見通し。



川ようになった道路（福井市
日之出4で、12日午前10時）

日未明にかけて荒川が警戒水位
（七）を二・四六尺越えて洪水
水位に達し、支流の小川がはんら
んして浸水家屋を出したのをはじ
め、足羽川、日野川もそれぞれ警
戒水位を一・四〇・六尺越え
た。
浸水家屋は、同市日之出四丁目

市は同日午前十一時、水害対策
本部（本部長・島田博道市長）を
設け、職員、消防署員ら約千人が
警戒体制にはいり、危険地区を回
った。市衛生課は、クレゾールな
どの消毒液千分を用意、水が引
きしだい消毒作業を始める。市内
二十二の幼稚園も午前中に園児を
帰宅させた。
荒川と古川にはさまれ、約百世
帯が浸水した城の橋中町の橋本津
町内会長（五七）は「古川にポンプさ
えあれば、雨水を荒川から足羽川
へ流せ、こんな惨状にはならなか
った。台風シーズンまでに市や県

A14-9-10-1

債券相	
12日(単位・ (東京)	国債
【国債】	10045
1234	10035
1234	10030
1234	10020
1234	10015
1234	10010
1234	10000

豪雨 浸水、山くずれ

荒川支流はんらん

国鉄駅裏で645戸つかる

福井

福井市内を流れる各河川は、十一日深夜から急激に増水。十二

日未明にかけて荒川が警戒水位（七尺）を二・四六尺越えて洪水水位に達し、支流の小川がはんらんして浸水家屋を出したのをはじめ、足羽川、日野川もそれぞれ警戒水位を一・四〇・六尺越えた。浸水家屋は、同市日之出四丁目付近が最も多く、同日午前七時ごろをピークに同地区など、国鉄福井駅裏を中心に全市内で五十四戸が床上浸水、五百九十一戸が床下浸水した。また市内安波賀町の県道も浸水で不通、足羽山登山口など十一か所でも土砂くずれが起った。

荒川と古川にはさまれ、約百世帯が浸水した城の橋中町の橋本津町内会長五七は「古川にポンプさえあれば、雨水を荒川から足羽川へ流せ、こんな惨状にはならなかった。台風シーズンまでに市や県



やぐらを組んで決壊した鞍谷川の応急補修をする水防団員（武生市池泉町で、12日午前10時30分）



川のようになった道路（福井市日之出4で、12日午前10時）

10校臨休、早退相つぐ

臨時休校も相ついだ。県教委の調べによると、小学校五、中学二、高校三の計十校が休校、十小、中、高校が早退したり始業時間を遅らせた。幼稚園、保育園も軒並み休み。大雨でこれだけ休校したのは数年ぶり。中でも浸水の多かった福井市東部の小、中学校

では、児童、生徒の欠席が多く、途中で授業を打ち切った。高校はちょうど学期末試験中だったが、交通機関のダイヤの乱れで始業が一時混乱。臨時休校、早退などは次の通り。

【休校】 福井市日出、旭、足羽郡美山町上手坂、南条郡南条町南条、大飯郡高浜町神野各小、足羽郡美山町美山、南条郡河野村河野各中、美方、若狭農林、若狭定時制各高校。

【早退】 福井市木田小、和田、上郷、東安居各小と成和中、今立郡池田町池田小、中学校。

A14-9-10-2

A14-

県下の豪雨禍広がる

千二百戸が浸水

国鉄各線もダイヤ混乱

十日から降り始めた雨は十二日も依然衰えず、県下各地で被害が続出した。県内の雨は降り始めから同日午後三時までに福井市で二〇五、敦賀市三二八、大野市三三七を記録、三十九年の西谷村風水害以来の記録的な集中豪雨となった。このため県下で午後五時現在千三百三十九戸が床上、床下浸水したのをはじめ、水田千畝が冠水、各地で土砂くずれや河川がはんらん、北陸本線、小浜線、越美北線とも終日ダイヤが混乱したほか、国道二五七号線、同三〇五号線は寸断され不通、同八号線も片側通行などで渋滞した。多数の浸水家屋を出した福井市、今立町など五市町が同日夕までに相ついで「対策本部」を設置、救援活動を開始した。鯖江市水害対策本部では同日午後三時三十分同市御幸町の五百五十世帯（千八百人）に避難命令を出した。なお県内の小、中学校、高校八校は臨時休校した。



臨時休校相次ぐ

学 校

県下の小、中学校、高校も大雨で臨時休校、授業短縮などが相次いだ。県教委の調べでは、足羽郡美山町上宇坂小学校が近くの川の増水で休校となったほか、山間部、低地帯の小、中学、高校計八

鯖江市で避難命令

浸水家屋

福井市では十一日午後十二時三十分ごろから、市中心街を流れる古川があふれ、濁流が道路を洗

被害八千余万円

農 産 物

県農林部が十二日午後一時現在でまとめた農産物への被害状況に

五市町に対策本部

さる十日からの断続的な大雨で県下にも被害が広がり、十二日夕現在、福井市など四市町が「水害対策本部」を、敦賀市が「災害対策本部」をそれぞれ設置した。水害対策本部を設けたのは今立町、今立町、福井市、南条郡南条町、鯖

役所の無策に怒り

福井市日雨が降るたび浸水

雨が降るたびに浸水に見舞われ、出来るのか」と無策の県、市に対する怒りの声が出ている。十一日朝からの激しい雨で足羽

効果がなく、荒川の水位が上昇したため、同川に流れ込む古川、手寄川など小川河の水門を開けた。

A14-10-11-1

交

小浜線運行

国鉄北陸線では、五十分ごろ、南条郡、駅構内の線路が二百、水につかり一時不通、線は十二日午前一時、敦賀、福井駅間

びかけている。

水稲については、九十、埋没十一、浸入三千七百とイモチ病、紋枯れ病の防除につとめる。イモチ病の多発が予

ダイヤ混乱

臨時休校相次ぐ

浸水家屋

五市町に對策本部

浸入家屋四百余戸などの被害を
 出した福井市は十二日午前十一
 時、市役所に島田市市長を本部長と
 する市水害対策本部を設置した。
 同本部では浸水家屋の実態調査を
 行なう一方、特に浸水の被害の大
 きい日之出地区住民に対し成和中
 学校を避難場所として指示した。

浸水家屋

福井市では十一日午後十一時三十分ごろから、市中心街を流れる古川があふれ、濁流が道路を洗

被害八千余万円

農
產
物

農林部が十二日午後一時現在
でまとめた農産物への被害状況に

また浸水地域に十一台のポンプを配置し排水に全力をあげている。

敦賀市は同日午後三時三十分、災害対策本部を設置、豪雨被害の警戒体制にはいり、各課長ら職員百人が徹夜で警戒。同日夕から十三日にかけて百―百五十㎜の大雨が予想されるため設置したもので、敦賀半島先端の立石地区に対して、地くずれの危険があるとして避難できる態勢を整えておくよう

区長を通じ注意した。そのほか市内の笹ノ川、三味線川、助高川流域の住民に対しても十分気を付けるよう通達した。

一方、県では大雨警報が発令された十日から防災計画に基づく第一次配備体制（警戒体制）には入り、十二日夜も各部主管課は責任者二人在庁、他の課は責任者を自宅待機させ、情勢しだいでは第二次体制へ移れる態勢をとっている。

びかっている。
 水稲については▽水が引いたあ
 とイモチ病、紋枯れ病、白葉枯れ
 病の防除につとめる▽長雨による
 イモチ病の多発が予想されるの
 で、雨のやみ間に出穂前、穂ぞろ
 い期などにも防除する▽浸水、渇
 水田ではアワヨトウの突発の恐れ
 があるので十分注意する——など
 が必要だとしている。

の徐行運転を行なっているため下の急行「くずりゅう号」が一時、下間四十五分遅れたのをはじめ、下記の線は軒並み一時間、上りは十分程度遅れた。

一方国鉄小浜線は十一日午後七時ごろ和田・高浜間など二カ所で線路が冠水したため一時バス輸送に切り替えた。また、同線は十二日夜からの豪雨に備え同日午後六

三十分 東海道線三島以東と兵庫
 県三の宮駅以西の小荷物取り扱い
 を停止した。
 有料道路タウン
 県宮觀光有料道路は断続的な大
 雨のため十二日までに三線とも事
 実上ストップした。さる一日開通
 したばかりのエンゼルライン(小
 浜市)は四力所延べ七十軒で土砂

有料道路ダウソウ

三十分、東海道線三島以東と兵庫
県三の宮駅以西の小荷物取り扱い
を停止した。

小浜線運行中止

交通

国鉄北陸線では十一日午後八時五十分ごろ、南条郡今庄町の鯖波駅構内の線路が二百斤にわたって水につかり一時不通となった。同線は十二日午前一時、開通したが、敦賀―福井駅間で時速三〇キロ

らストップ、午後三時すぎまで不通となった。バス路線は京福電鉄、福井鉄道合わせて六路線が運休、二十六本が止まった。また西日本、関東地方の集中豪雨のため、国鉄福井駅では同日午後零時

破くずれが起き十二日午前六時から通行止めとなった。

また、越前海岸道路は直接被害がないものの、同道路に接続する国道三〇五号線が各地で不通になっており、事実上ストップしている。

役所の無策に怒り

福井市曰
之出地区
雨が降るたび浸水

雨が降るたびに浸水に見舞われている福井市日之出地区は今度も床上、床下浸水百二十一戸と同

出来るのか」と無策の県、市に対する怒りの声が出ている。

十一日朝からの激しい雨で足羽

効果がなく、荒川の水位が上昇したため、同川に流れ込む古川、手寄川など小川河の水門を開めた。

水目的のダム建設を計画しているが、今年度調査費が付いただけ。



五市町に対策本部

さる十日からの断続的な大雨で県下にも被害が広がり、十二日夕現在、福井市など四市町が「水害対策本部」を、敦賀市が「災害対策本部」をそれぞれ設置した。水害対策本部を設けたのは今立郡今立町、福井市、南条郡南条町、鯖江市。

役所の無策に怒り

福井市日之出地区 雨が降るたび浸水

雨が降るたびに浸水に見舞われている福井市日之出地区は、今度も床上、床下浸水百二十戸と、同市では最も多い被害を出した。一時は腰までもある水が道路をあふれまわり、必死で避難した住民たちの間には「いつになったら安心

出るのか」と無策の県、市に対する怒りの声が出ている。十一日朝からの激しい雨で足羽川が増水。同夜十一時ごろ日之出地区を流れて同川に流れ込む荒川よりも水位が高くなり水門を閉めポンプ排水に切り変えた。しかし

効果がなく、荒川の水位が上昇したため、同川に流れ込む古川、手寄川など小川河の水門を閉めた。ところが、両川などにはポンプ施設がないため激しい雨でたちまちはんらん。同地区は水びたしになった。同地区には一応下水道は張りめぐらしてあるが、処理能力は同地区内四十五戸（一時間）で造られている。このため市では「今度のような大雨の場合、お手あげ」と説明。「県が荒川と足羽川の水位を下げるため抜本改修をする以外にない」といっている。

県では数年前から足羽川上流の足羽郡美山町が今立郡池田町に治

水目的のダム建設を計画しているが、今年度調査費が付いただけ。

また荒川上流の吉田郡松岡町で九頭竜川と結び、水位を下げる計画とも取り組んでいるが、進展せず抜本的な治水対策は早急に望めそうにない。また応急対策としては今度はんらんした両川に排水ポンプを設置することが考えられるが、県は「両川にポンプを取り付けると他の小川への影響はさらに大きくなり、被害を大きくするだけ」と説明しており、同地区の浸水騒ぎは容易に解決されそうにない。

A 14-10-11-3

麻薬組織にいとむ

「夜の大捜査線 霧のストレンジヤー」

四層の高いへいをめがらした七階

建ての家具会社周辺の道路は閉鎖され、工事中の標識が立てられた。同時に巨大なクレーン車が、工場を横切つてなり、五階の窓へ

侵入した男たちは、サルぐつわの男を締めあげて、金庫室を開かせた。庫内から大量のヘイロンを運び出した。サルぐつわの男はただ一人

雄が、アメリカの歴史上、重要な役割りを果たしたとはいえ、その名前や行為が、神話化され、本来の姿が消えてしまったと感じてい

テレビ

テレビようち
マンガ大戦争
アパッチ野球
因
特捜隊アダム
Nコープ
MRON
123と45
ケンちゃん
ありがとう
フラッシュ
入ってまあ
関口 宏
お住まい
地の果て
因
MRON
世なおし奉
海鳴り」
JNN
スポーツ

は 1 問

7/13 東西南北

西日本を中心にあはれまくつた「ゲリラ豪雨」は、本県にもかなりの被害を出した。松江市や三次市のようなことはなかつたにしても、地域ぐるみで避難させられたところも少なくなかった。特に、鱈江市の旧染色団地内にある住宅街の人たち約五百世帯は、寝耳に水の避難だった。

人災を繰り返すな

水が急に同住宅街にはいつてきたからではない。同住宅街は二年前から県開発公社が造成し分譲しているもので、売り出した時には、水がつかないという分譲住宅を売り出した。ところが、だれでもが水害の心配をう。まさに「人災」の典型といつてもよいかもしれない。鱈江市の旧染色団地の住宅街だけではない、福井市の日之出四丁目一帯にしても同じである。荒川のはらんは、いまにしまつたことではないのに、いつこうに改修されない。これは、住民はやり切れないし、いつになったら、お役所は仕事をしてくれるのだらうという気にもなる。

は再び北上する氣配をみせているので、十三日夜までは一時雨が弱まるが、今後の氣象通報に氣をつけてほしい」と呼びかけている。十二午前九時から十三日午前九時までの県下各地の雨量は、大野市木無山で二・一五リ、勝山市北谷一・〇九リ、上中町熊川一・〇六リと嶺北、嶺南の山岳地帯に多く降った。梅雨前線は南下したが、北の方から冷たい風が吹き込んでいるため、富山、石川の両県にはまだ大雨警報が出ている。本県地方は梅雨前線とこの冷たい風が吹き込んでいる谷間にあるため、一時的に雨がやんでいる。今後は、台風の動きによつて再び梅雨前線の動きが出る。

や薬劑散布

地区の住民たち

町、大島町、舞屋町などは依然浸水騒ぎが続く、同日午前九時現在下町生田町の足羽団地で床上浸水二十戸、板垣、大島など各町で床上浸水約四百四十戸の被害が出てい

おさまった日之出四丁目付近一帯の各家庭に同日早朝からクレゾール液などの薬剤を配布、防疫対策を進めている。また床上浸水の被害を受けた各家庭ではようやく小

降りになった空もようを気にしながら、疊や家財道具の整理に追われている。

また十二日朝から浸水した鰯江
市御幸町二、三丁目一帯は、十三
日未明から朝にかけ徐々に水が引
き出し、近くの体育館に避難した

區民絶二百數十人は不安な一夜を
過したが、十三日朝には迎えの
車に相乗りしてわが家に帰つてい
った。

同地区には自衛隊鯖江駐とん部隊も救援に出動して、近くの労災リハビリテーションの避難などを手伝った。

避難した体育館から戻ってきた区民たちは、被害も思ったほどではなかったので安どの胸をなでおろしながらも、家具類の跡片づけに大変だった。区民は口々に「二度と水害が起こらないよう、排水をよくしてほしい」と訴えていた。

裏山くずれ
下屋つぶす
.....
井 福

一方、土砂くすれも依然各所で
続いている。十二日午後七時四十
五分ごろ、越前町梅浦の県道武生
一四ヶ浦線で、山腹が幅四十呎、
高さ三十呎にわたつてくすれ、土
砂千立方呎が道路を埋めた。この
ため同線は全面通行禁止、付近の
三巻安徳さん方へ住宅二軒も危険
になったため避難している。

また十二日午後十一時ごろには

福井市金屋町の会社員、小坂広治さん(六)の方の裏山で土砂くずれが起き、小坂さん方の木造二階建て住宅(七十平方メートル)の下屋部分を押しつぶした。幸い小坂さんは近くの民家に避難して無事だったが、さらに土砂くずれの危険があり、福井署員や地元消防団員らが警戒に当たっている。

当たっている。

また、武生市池泉町の鑿谷川決壊は、地元消防団員など約百人がやぐら五基、土のう三百個を決壊場所に埋め、十二日午後二時ごろに復旧作業を終えた。このため同河川決壊で避難命令の出た今立町下西山區の人たち約五十人は同日夕から水も引き出し、自分の家に

戻つて跡始末にてんてこ舞いして
いた。

県警本部が十三日午前九時現在
まとめた各地の被害状況は床上浸
水百二十戸、床下浸水千百九十四
戸、田畑の冠水八百二十八畝、水
田の流失、埋没二〇・六五畝、橋
の流失六カ所、道路損壊十四カ所
となっており、国道三〇五号線な
ど主要幹線も前日に続き通行禁止
になっているところが目立ってい
る。

大雨、洪水注
意報を解除

福井地方気象台は十三日午前十時、発令甲の大雨、洪水注意報を解除した。



裏山がくずれ落ち危陰にさらされている小坂さん方住宅Ⅱ福井市金屋町で

豪雨い、



自衛隊員の応援で避難するリハビリテーションの人たち 十三日午前零時

全線30キロ運転 小浜線

金鉄局の調べによると、雨の被害による列車ダイヤの乱れは北陸本線で十三日早朝から徐々に回復しているが、小浜線は全線三〇キロの規制運転でかなり乱れている。

同日正午現在、北陸線では上り特急しらさぎ一号(富山―名古屋)雷鳥一号(富山―大阪)が十分程度の遅れを出したほか上、下合わせて急行など十八本がいずれも十一二十分程度遅れをみせたに

とどまった。これは北陸線、糸井―敦賀間、津幡―倶利伽羅間で三〇キロ制限運転を行なっている影響で、この規制は十三日いっぱい続けられる見込み。従って完全正常ダイヤに戻るのには十四日以降になる。

一方、不運となっていた小浜線は十三日始発から運転を再開したが全線三〇キロ規制運転のため、各列車とも一時間から一時間半程度の遅れでかなり混乱している。

金鉄局では急行「大社」(金沢―米子)を上下とも運休したほか急行わかさし、二号を上下いずれも運休、普通列車一本を敦賀―小浜間で区間運休した。

また十二日の列車の遅れにより払い戻し額は金鉄局管内で、千九百六十五件、百四万円にのぼった。



裏山がくずれ落ち危険にさらされている小坂さん方住宅 福井市金屋町で

下浸水約百四十戸の被害が出てい「害を受けた各家庭ではようやく小」き出し、近くの体育館に避難した

場所を埋め、十三日午後一時ごろに復旧作業を終えた。このため同河川決壊で避難命令の出た今立町下西山区の人たち約五十人は同日夕から水も引き出し、自分の家に

A 14-12-13-3



復

水浸地

市の係員も出て散佈作業も始めるなど防疫対策を行なった。
また床上浸水の被害を受けた各家庭ではようやく小降りになった空もようやくにしながら、家族総出で畳や家具道具の整理に追われ

豪雨やつと小康状態

浸水地帯で復旧作業

北陸本線 ほぼ平常ダイヤに

県下は十三日朝になって、ほとんど雨ちやみ小康状態にはいった。国鉄北陸本線など交通機関もほぼ平常ダイヤに戻った。国、県道では不通箇所の復旧作業が遅れ、全線開通までに、かなり時間がかかりそう。しかし、県下各地とも、十三日になってから新しい被害もなく、福井、鯖江市など浸水地帯では、復旧作業が始まった。



浸水騒ぎで近くの体育館に避難した鯖江市御幸町の住民たち



床上浸水の被災家庭の薬剤散布作業 福井市日之出で

福井地方気象台では同日午前十一時、大雨・洪水注意報を三日ぶりに解除したが、あと数日はぐずついた天気が続くそう、十分な注意を呼びかけている。

県下の雨は、降り始めてから十三日午前九時までに福井市で二六三ミ、敦賀市で三九三ミ、南条郡今庄町で四三三ミを記録。

三十八年六月以来の集中豪雨になった。しかし、十二日夜から十三日朝にかけては、二〇ミ前後と少なく、一応危険は去った。

このため、十三日午前四時ごろ、福井市金屋町、会社員小坂広治さん(六三)の裏山で、二千立方メートルの土砂くずれがあったほかは、新しい被害の連絡はない。

まだ不通の道路も

交通機関では、北陸本線が上り、下りとも十分前後の遅れ。十日午後六時から全線不通になっ

被害総額は十五億八千余万円

県下の被害は、総額十五億八千七百万円にのぼっている。

内訳では、道路などの公共土木施設が九億六千万円でもっとも多く、次いで四千四百余万円に及ぶ冠水田畑が出た農産物関係三億六千

た小浜線も、十三日は急行「大社」など三本が運休したほかは始発から、ダイヤはかなり乱れているものの開通した。
道路では国道三〇五号線など国道三カ所、県道三十八カ所が不通になっている。土砂くずれなどが原因だが、県土木部道路課の話では、全線復旧までに最低三日間はかかるという。

薬剤散布に大わらわ

福井市内の各浸水家屋

浸水家屋七百一戸、山・がけくずれ、道路欠損など二十九カ所など大きな被害を出した福井市では一夜明け十三日朝には浸水家屋はほとんどなくなった。被害にあった家庭ではさっそく、家庭内にたまった水の排水や流れ込んだゴミの清掃に追われていた。一方、市では防疫対策として浸水家庭全戸に石灰を配布したほか、床上浸水家庭で薬剤散布作業を始めた。

福井で住民騒ぐ

メッキ工場の排水処理施設がオーバーフロー
十二日夕から十三日にかけて、福

A14-13-14-1

井市江端町で、出水した水が黄色く濁り、周辺住民が「メッキ工場の有害薬品が流れたのではないかと騒いだ。同市公害課と県公害規制課などが調査の結果、同町三三、宇野メッキ工業(宇野登社長)の排水処理施設の浄化槽が出水でオーバーフローしていたことがわかり、十三日午後、同工場に一時操業中止を勧告、万全を期すことにした。

十二日夕、市民からの連絡で県公害規制課職員らが現地調査したところ、近くの江端川がふれ付近が約二十センチ冠水、水は側溝を伝って同工場内の排水処理施設へ逆流しオーバーフロー状態になっていた。排水口付近の水を採取し県公害センターで分析したところ、シアンは検出されなかったが、六価クロムが推定〇・一PPMほど出た。

六価クロムの排出基準は〇・五PPMで、検出量は約五分の一と低い、同課では他にシアン中和剤などが流出する恐れもあり、文書で、処理施設が完全に作動する

まで操業を止めるよう側も了承した。市、県「薬品流出の心配はない、出水で濁っただけ」と

一方、同工場の宇野は「十二日は午後には作

復

また床上浸水の被害を受けた各家庭ではようやく小降りになった空もようやくにしながら、家族総出で畳や家具道具の整理に追われ

つと小康状態

復旧作業は平常ダイヤに

国鉄北陸本線など交通機関もほぼ平常ダイヤに戻った。国、県



床上浸水の被災家庭の薬剤散布作業―福井市日之出で

福井地方気象台では同日午前十一時、大雨・洪水注意報を三日ぶりに解除したが、あと数日はぐずついた天気が続くそう、十分な注意を呼びかけている。

県下の雨は、降り始めてから十三日午前九時までに福井市で二六三ミ、敦賀市で三九三ミ、南条郡今庄町で四三三ミを記録。三十六年六月以来の集中豪雨になった。しかし、十二日夜から十三日朝にかけては、二〇ミ前後と少なくなり、一応危険は去った。

このため、十三日午前四時ごろ、福井市金屋町、会社員小坂広治さん(六三)の裏山で、二千方の土砂くずれがあったほかは、新しい被害の連絡はない。

まだ不通の道路も

交通機関では、北陸本線が上り、下りとも十分前後の遅れ。十二日午後六時から全線不通になっ

被害総額は十五億八千余万元

さる十日から断続的に県下各地を襲った豪雨被害は、十三日現在

た小浜線も、十三日は急行「大社」など三本が運休したほかは始発から、ダイヤはかなり乱れているものの開通した。

道路では国道三〇五号線など国道三カ所、県道三八カ所が不通になっている。土砂くずれなどが原因だが、県土木部道路課の話では、全線復旧までに最低三日間はかかるという。

薬剤散布に大わらわ

福井市内の各浸水家屋

浸水家屋七百一戸、山・がけくずれ、道路欠損など二十九カ所など大きな被害を出した福井市では一夜明けた十三日朝には浸水家屋はほとんどなくなった。被害にあった家庭ではさっそく、家庭内にたまった水の排水や流れ込んだゴミの清掃に追われていた。一方、市では防疫対策として浸水家庭全戸に石灰を配布したほか、床上浸水家庭で薬剤散布作業を始めた。

床上浸水三七戸、床下浸水二百五十戸と同市で最も多くの被災家屋を出した同市日之出地区も、同日朝にはすっかり水が引き、ぬれた表情。

福井で住民騒ぐ

メッキ工場の排水処理施設がオーバーフロー

十二日夕から十三日にかけて、福

副知事らが視察

豪雨のため県下では十二日に四市五町が「対策本部」を設置したが、十三日須知副知事、豊住総務部長、江川若狭県事務所長の三人が手分けして九市町を視察した。須知副知事は午前中福井市役所を訪れたあと午後から鯖江、武生両市を視察した。豊住総務部長は敦賀市、南条町、今立町を訪れた。

井市江端町で、出水した水が黄色く濁り、周辺住民が「メッキ工場の有害薬品が流れたのではないかと騒いだ。同市公害課と県公害規制課などが調査の結果、同町三三、宇野メッキ工業(宇野登社長)の排水処理施設の浄化槽が出水でオーバーフローしていたことがわかり、十三日午後、同工場に一時操業中止を勧告、万全を期すことにした。

十二日夕、市民からの連絡で県公害規制課職員らが現地調査したところ、近くの江端川がふれ付近が約二十センチ冠水、水は側溝を伝って同工場内の排水処理施設へ逆流しオーバーフロー状態になっていた。排水口付近の水を採取し県公害センターで分析したところ、シアンは検出されなかったが、六価クロムが推定〇・一PPMほど出た。

六価クロムの排出基準は〇・五PPMで、検出量は約五分の一と低い、同課では他にシアン中和剤などが流出する恐れもあり、文書で、処理施設が完全に作動する

まで操業を止めるよう勧告、工場側も了承した。市、県の調べでは「薬品流出の心配はなく、濁水も出水で濁っただけ」と見ている。

一方、同工場の宇野登社長(三三)は「十二日午後には作業してない。水が濁ったのは処理施設などに付着している浮遊物が一部溶けたためらしいが害はない」と話している。

県下の豪雨やつと一息

7/14
フー



前日に続き床上、床下浸水の被害が出た福井市助生田町一帯

復旧作業急ピッチ

浸水地区 薬剤散布で防疫にも力

福井地方を襲った「豪雨」は十三日、梅雨前線の南下
でようやくいつく、福井地方気象台も発令中の大雨・洪水
注意報を四日ぶりに解除した。国鉄小浜線の列車ダイヤの乱
れや福井市や越前町で十二日夜から十三日未明にかけ土砂く
ずれ、家屋の浸水がさらに続いたが、各地の被害も一段落し
復旧作業が急ピッチで進んだ。

県水防本部がまとめた降り始め
から十三日夕方までの各地の被害
状況は床上、床下浸水二千四百五
十一戸、建物損壊八戸、堤防決壊
一つ、はらん二百四十四戸、
田畑の冠水四千四百戸、田畑の流
失五十三戸、橋の流失二十四戸、
田がけくずれ百三十三戸、道路損壊
二百三十一カ所にものぼった。被
害総額も十五億八千七百万円。四
〇年の西谷風水害以来の被害とな
った。

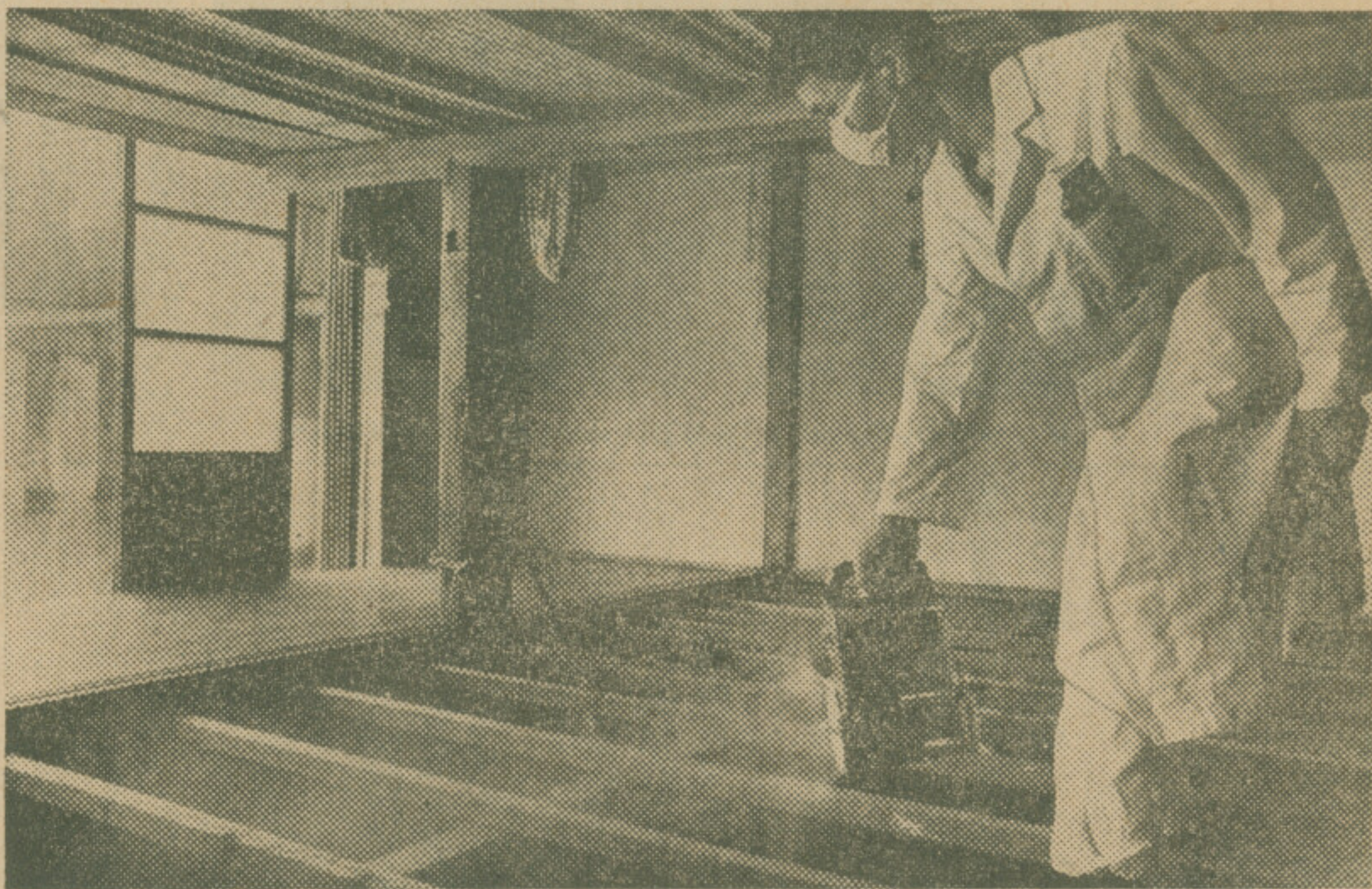
福井地方気象台では「梅雨前線
は台風6、7、8号の日本接近に
伴い、再び北上する気配をみせて

被害総額は15億9千万

雨が小康状態になった十三日朝
から福井、鯖江、武生、敦賀、今
立、南条、三方各市町の被害、災
害対策本部は復旧に乗り出した。

福井市水害対策本部では浸水のお
さまった日之出四丁目付近一帯の
各家庭に石灰などの薬剤を配布、
市の係員も出て散布作業も始める
など防疫対策を行なった。

また床上浸水の被害を受けた各
家庭ではようやく小降りになった
空もよつを気にしながら、家族総
出で畳や家財道具の整理に追われ



豪雨もいつく、水の引いた家に薬剤散布する福井市職員二丁目
市勝見二丁目

いる。今後の気象通報に十分注意
してほしい。また長雨で地盤がゆる
んでいるので山くずれやがけく

いた。県厚生部も各市町村に対
し浸水後の防疫対策を徹底するよ
う指示した。

しかし福井市の江端川流域や今
立町鞍谷川付近では床上、床下浸
水騒ぎがいぜん続いている。江端
川流域の福井市助生田町、足羽団
地には福井地区消防本部からポン
プ車二台が出動、水のくみ出し作
業を進めるなど終日てんてこま

のため同線は全面通行禁止、付近
の住宅二軒も危険になったため避
難している。
さらに十二日午後十一時ごろに
は福井市金屋町の会社員、小坂広
治さん(三十九)の裏山で土砂くすれ
が起き、小坂さん方の木造二階建
て住宅(七十平方尺)の下屋部分を
押しつぶした。幸い小坂さんは
無事だった。

増水で工場か ら排液流出か

福井、シアン検出されず
降り続いた大雨で福井市江端町
の江端川が増水し、十二日午後近
くの宇野メッキ工業会社(宇野登
社長)の中和処理工場で水が流れ
込んだ。このため、付近住民から
シアンなど毒物を含んだ排液が一
緒にあふれたのではないかと、県
に連絡があった。

県公害規制課では、現場で同会
社の責任者から事情を聞くことも
に、排水口付近から五〇〇ccの水
を採取、県公害センターで分析し
た。この結果、心配されたシアン
は検出されなかった。しかし、六
価クロム、〇・一PPMが検出さ
れた。排水口付近での六価クロム
の規制基準は、〇・五PPMだか
ら問題はないが、県では中和処理
工場の機能が平常に戻るまで作業
をやめるよう勧告した。

また、今後は近所の住民に不安
を与えないよう処理工場の維持
管理に十分注意することを指示
した。

た小浜線も、十三日は急行「大
社」など三本が運休したほかは始

副知事らが視察

豪雨のため県下では十二日に四

豪雨禍中小河川のもろさ露呈

抜本的改修急げ

荒川 九頭竜への導水路も

福井市と南越地方を中心に大きな被害を出した「あはれ梅雨」による、改修の遅れている中小河川のもろさをいよいよはじめてみせた。家を泥水にあらわれ、十三日も家財道具の整理におわれた。荒川と浅水川流域の福井市民は「九頭竜本川がたいじょうぶなのに、このくらい雨で家が泥水につかっている」と口をそろえて、もとい中小河川をいざおっている。この豪雨禍は生活優先の治水行政として中小河川の抜本的改修の必要性を教訓として残した。

県土木部の調べによると、この間の降雨量は降りはじめから三〇〇ミリ四三〇ミリを記録した。しかし、九頭竜、足羽、日野三大河川は警戒水位を突破したが、破壊は一カ所もなかった。これに反し、中小河川は各所であふれ、堤防が決壊し、こまかい破損箇所を含めると百四十五カ所（被害額約七億円）にのぼり、もろさを露呈した。

今足羽と南条町に大きな被害を与えた鞍谷川と清水川は、未改修区間の武生市池泉と南条町協本が決壊したため、はじめから危険が予想されていた地区。しかし、この改修の遅れは国からの中小河川改修費が少ないのが最大の原因で、生活優先の治水行政とはほど遠い。

一方、福井市の東部地区を水びたしにしたのは荒川のはらんが原因。三十年に一度改修したが、本流の足羽川の川底が長年の土砂流出であがつたため、豪雨になると足羽川の水位が荒川の水位以上になり水門を閉さなければならぬといふありさま。いざ荒川

は少し強い雨が降るとまたはらんのおそれがある。しかし、この地区も工場や住宅の密集地帯だけに用地買収はむずかしい。国や

被害は15億9千万円

県は十三日、あはれ梅雨豪雨による被害状況を発表した。土木、農林施設を中心に大きな被害を受け、被害総額は十五億八千七百九十九万にのぼっている。内わけ次の通り。（カッコ内は被害額、単位千円）

▽軽傷 一八〇〇〇住宅一部破損 六〇〇〇床上浸水 一五九〇〇床上浸水 二九二〇〇非住宅破損 八二〇〇田畑冠水 四万〇〇〇▽商工業（一〇〇一〇）

地区を流れる一級河川の古川がはらん、浸水家屋二百四十二戸と最も被害の大きかった日之出地が、県下でも急傾斜のかけや山は

だぞいに五戸以上の民家があると、これは百三十カ所もあり、危険がいつぱい。このため、県では民家採り住家改造などが制限される

メッキ工場から黄緑色の水 浸水地区民ヒヤヒヤ

「あはれ梅雨」で十二午後、福井市江崎地区が水びたしになったとき、同地区の宇野メッキ工業会社から黄緑色の水があふれ、地区民が「人体に有害ではないのか」と騒ぎだし、福井市と県の公

泥水洗いや消毒

豪雨 復旧作業に大わらわ

「あはれ梅雨」で十二午後、福井市江崎地区が水びたしになったとき、同地区の宇野メッキ工業会社から黄緑色の水があふれ、地区民が「人体に有害ではないのか」と騒ぎだし、福井市と県の公

県下を襲った「あはれ梅雨」は十三日あさようやくあがり、福井地方気象台は午前十時、三日ぶりに大雨・洪水注意報を解除した。警戒水位を越えていた九頭竜川などの各河川もしたいに減水したが、この間の豪雨で、山、ガケの土に大量の水が吸い込まれ、土質がもろくなっているのが、土質の流出する心配があり、県水防本部をはじめ、各市町村ではひきつづき警戒体制を強めている。

十三日朝の福井地方は午後から小雨にかわり、十二日夜から十三日朝までの雨量は二〇・三〇ミリ



床上浸水した被災家屋の消毒をする福井市衛生課員

「あはれ梅雨」で十二午後、福井市江崎地区が水びたしになったとき、同地区の宇野メッキ工業会社から黄緑色の水があふれ、地区民が「人体に有害ではないのか」と騒ぎだし、福井市と県の公

水害常襲、なんとかならんか

水につかった福井市目之出二丁目。車はタイヤ半分まで水につかってノロノロ運転
(12日写す)



47.7
7/15
毎日

もっと排水能力を

住民県市へ訴え

福井の低地帯

十一日夜から十二日にかけての雨で福井市目之出四丁目の町内を流れている排水路の古川があふれ、同町、城ノ橋中町などで床上浸水三十八戸、床下浸水二百三十二戸の被害が出た。付近一帯は二つの排水路にはさまれた中州のようなところで福井市で一番さきに水がつく低地帯。たまりかねた住民代表は十四日「排水路の水が足羽川に流れ込むよう早急にポンプアップしてほしい」と市、県に陳情した。

あふれる古川の水

早急に対策立てよ

7/15 47.7

浸水した福井市目之出地区 視察県議団に訴え

雨のたびに浸水の被害を受けるのはもうがまん出来ない——福井市目之出地区住民は十四日、現地視察に訪れた同市選出の田辺義典氏ら県議団に実情を訴え、さらに県と市に早急に雨対策をたてるよう陳情した。

福井市は九日から降り続いた雨で古川、江端川があふれ同市目之出地区、足羽川など浸水家屋七百五十五戸を出したほか、道路欠損、山やけがけくずれ二十九カ所(市水害対策本部十三日調べ)と、さる四十一年の水害を上回る大きな被害に見舞われた。

急傾斜地の災害防止法

23カ所に適用

県が関係市町村と検討

「四七・七豪雨」は全国で山くずれを起こし民家をのみこんだところは百三十カ所もあり、危険が、県下でも急傾斜のけや山は

また城ノ橋中町の橋本津町内会長は「十一日午後十一時すぎ、私は床にはいつていたが、表が騒がしいので起きてみると、あつという間に家の中に水が流れ込み、たちまち床上三十センチまで水がふえた。家財道具もタタミも上げるヒマはなかった。さっそく石油カンをたたいて百世帯あまりを起こしたが、オチオチ寝てもいられませんでした」という。中には背中がビチャビチャしたので目をさましたら室内が水びたしになっていた、というケースもある。

橋本町内会長はさらに「私は十二日午前零時に一九九番に電話したんですが古川の水門が閉じたのは一時間後。水門のカギをとりに行ったり、金具がさびついていたので手回したらいい。これが被災者です。これが被災者です。」

問題は古川、荒川、足羽川の水位にある。水は古川から荒川へさきにポンプを使って足羽川に流れ込んでいくが、大雨が降った場合の各河川の最高水位は古川が海抜七五、荒川が九・五、足羽川が

減った遊水地帯

都市・中小河川を改

都市河川の再検討と中小河川の早期改修——これが今回の出水に対する県の反省。都市近郊の水田に

が十二戸以上集中している危険な二十三カ所を早急に「急傾斜地の崩壊による災害防止法」の適用対象地区にしたいと考えて関係市町村と協議を進めている。同防止法の対象は▽がけや山はだの傾斜度が三十度以上▽がけなどの高さが五メートル以上▽民家が五戸以上ある場所——となっている。県の調べでは、対象地区は県下に百三十カ所あり、うち指定を受けているのは二十五カ所だけ。危険地区の内訳は越前町二十八、福井市十六、河野村十三が「ビッグスリー」で、あとは全県下にちらばっている。指定を受けると、国や県の防災工事が行なわれるが、立ち木の伐採や住家改造などが制限される。

A14-16-19-1

マツキ工場から黄緑色の水
浸水地区民ヒヤヒヤ

クロムメッキ工程で中和処理した六価クロムは〇・一九で環境基準の五分の一、シアンは検出され

で

訴え

福井の低地帯

雨の雨で福井市日之出四丁目町内
があふれ、同町、城ノ橋中町などで床
三百三十二戸の被害が出た。付近一帯
中州のようなどころで福井市で一番
早くかねた住民代表は十四日「排水路
早急にポンプアップしてほしい」と

古川の水

心に対策立てよ

浸水した福井市日之出地区 視察県議団に訴え

区は雨のたびに浸水の被害を受
け、台風シーズン前に地区住民
の悩みも深刻。

現地を訪れた視察団に対し職物
業北中武夫さん「住民約六十
人が「土地区画整理のため降った
雨は一度に古川に流れ込み、古川
の水門を閉めれば排水ポンプがな
の実施を訴えた。

急傾斜地の災害防止法

3カ所へ適用

減った遊水地帯

都市・中小河川を改修

県の反省

都市河川の再検討と中小河川の
早期改修——これが今回の出水に
対する県の反省。都市近郊の水田
ため、地元が指定をきらうケース
も少なくないといわれる。
危険地区のうち民家が二十戸以
上密集、防災工事が五百万円以
上（国庫補助対象）見込まれると
ころは十三カ所で、大半は越前町
と河野村に集中している。県では
これらの地区をまず指定したい考
えて、関係市町村と協議を進めて
いる。指定されると、コンクリー
ト吹きつけやコンクリート防壁が
設けられるが、工事は二三年か
かる。

15日夜に大雨？ 気象台 赤信号

降り続けている長雨は十四日
「小康状態」になったものの、南
方海上には台風6号をはじめ7
号、8号と目白押し。福井地方気
象台は「雨は十六日ごろまで降り
続き、6号が西進すると十五日夜
半から十六日にかけて県下でも百ミ
リを越す大雨になるだろう」と「危
険信号」を出している。

課長は「用地買収の交渉だけでも
一年はかかると思う。雨がやんだ
らすぐ、福井市選出の県議さんに
集まってもらい地元民への説明、
協力要請のスケジュールを決めた
い」という。

「た。たとえば鯖江市の染色団地
は水田地帯だった当時、少し
雨が降ると近くを流れる小川があ
ふれて水つかりになっていた。水
田が遊水地帯の役割を果たして出
水の被害を最小限に食い止めてい
た。その遊水地帯が大きな団地に
なったため、その分だけ遊水地帯
は少なくなり、今回のように川か
らあふれた水がほとんど団地には
いつてきた。
本流の水位が高くなると枝川の
水門が閉められる。水門で行き場
所のなくなった水は堤防を越えて

あふれ出る。県は団地造成のさ
い、このことを予想して排水ポン
プも備えていたが「まさかこれほ
どの出水になるとは」と、遊水
地帯がなくなった影響の大きさに
驚いている。
福井市の東部を抜けて足羽川に
流れ込む荒川の場合も、工費をか
けて堤防を高めたが、足羽川の
水位が高くなって水門が閉められ
ると、枝川の古川があふれてしま
った。
中小河川については、被害の出
たところは県防災会議で「危険」
とマークしたところばかり。あら
かじめ予想されていただけに「な
んとかならなかつたものか」と
いう反省がある。各関係者をそろ
えた防災会議で、毎年計画や対策
は立てられるが、実行が伴わな
かったのか、あるいは早目の応急措
置でも水の勢いに勝てなかったの

か。要は根本的な改修の遅れてい
ること。改修計画はあるのだが、
大きな金を食う仕事だけに、一挙
に片づけるわけにはいかない。国
の補助も限られているという。



A14-17-20



足羽山

A14-17-21



荒 川

A14-18-22



日 野 川

A14-18-23



江 端 川

A14-19-24



九 頭 竜 川

A14-19-25



江端川ポンプ場

A14-20-26



A14-20-27



米松町(東縦貫線から)

A14-21-28



荒川

A14-21-29

山

豊島2丁目



荒川

A14-22-30



A14-22-31



A14-23-32



A14-23-33



A14-24-34



S47.7

日ノ出3丁目7

A14-24-35



日ノ出 3丁目 7/19 A14-25-36



日ノ出 3丁目 12 A14-25-37



A14-26-38



A14-26-39



A14-27-40



日ノ出3丁目 12 A14-27-41



A14-28-42



A14-28-43



A14-29-44

日ノ出1丁目16 北陸冷蔵付近



A14-29-45



御幸 1丁目 A14-30-46



御幸 1丁目 A14-30-47



御幸 2丁目 3

A14-31-48



御幸 2丁目 25

A14-31-49



御幸 2丁目 8 A14-32-50



御幸 2丁目 9 A14-32-51



A14-33-52



A14-33-53



A14-34-54



A14-34-55



A14-35-56



A14-35-57



勝見 2丁目 A14-36-58



A14-36-59



舞 屋 町

A14-37-60



大 島 町

A14-37-61



A14-38-62



下筋生田町 足羽団地視察

A14-38-63



A14-39-64



A14-39-65



7/13 日 / 出 了 丁 目
A14-40-66



A14-40-67